



報道関係者各位

問い合わせ先:

アボットジャパン  
広報部  
03-4588-4602

## アボット、在宅医療時等の長期栄養管理に配慮した新製品 「エネーボ™配合経腸用液」を発売開始

— 経腸栄養剤としては国内初となる成分を多数配合 —

アボットジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役会長兼社長 坂本春喜)は、長期栄養管理時等における必要栄養素の欠乏に配慮した、半消化態栄養剤 エネーボ™配合経腸用液を本日5月30日から発売開始いたします。本剤は、医療用医薬品の半消化態栄養剤として15年ぶりの新製品で、3月に厚生労働省より製造販売承認を取得しています。

現在、日本国内においては高齢化が急速に進んでおり、2025年には65歳以上の高齢者が3割に達するといわれています。2014年の診療報酬改定では、急性期病院の機能分化だけでなく、在宅医療の拡充にも重点がおかれ、地域包括的な医療体制が構築されつつあります。このような背景において、経腸栄養剤には急性期タンパク異化亢進状態及び慢性期低タンパク栄養不良状態の両方に適応できる製品が渴望されてきました。

アボットジャパン株式会社 執行役員 栄養剤製品事業部長 武知 秀幸は、「アボットは、日本特有の医療プラクティスと市場ニーズに合わせ、エネーボ™配合経腸用液を開発いたしました。本製品が患者様のQOL(Quality of Life: 生活の質)向上に貢献できることを期待しております。」と述べています。

エネーボ™配合経腸用液の効能・効果は、「一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する」です。

エネーボ™配合経腸用液は、タンパク質の配合比率を高めるとともにBCAA<sup>\*1</sup>を強化しています。また経腸栄養剤として初めてとなる栄養成分として、抗酸化作用のあるセレンや脂質代謝に関与するカルニチンの他に整腸作用が期待できるフラクトオリゴ糖、糖代謝に関連するクロム、酵素の構成要素であるモリブデン、脂質の消化・吸収に関与するタウリンを配合しました。

\*1 BCAA:

タンパク質を構成する20種類のアミノ酸のうち、ヒトの体内で合成できないものが9種類あり、必須アミノ酸と呼んでいます。そのうち側鎖に枝分かれした炭素鎖をもつアミノ酸、すなわちバリン・ロイシン・イソロイシンを分枝鎖アミノ酸(BCAA)といいます。BCAAは筋肉でタンパク質を合成するとともに、筋肉のタンパク質分解を抑制する働きがあります。術後などの異化亢進時や筋力が低下する高齢者ではBCAAの比率を高める必要があります。

参考資料

「エネーボ™ 配合経腸用液」製品概要



経腸栄養剤(経口・経管両用) エネーボ™ 配合経腸用液 栄養成分組成表

1 缶 (250mL) 中に下記の栄養成分・分量を含有しています

タンパク質	13.5g	ビオチン	13 μg
脂肪	9.6g	タウリン	45mg
炭水化物	39.6g	L-カルニチン	32mg
フラクトオリゴ糖	1.7g	ナトリウム	0.23g
ビタミン A	190 μgRE	カリウム	0.30g
ビタミン D	2.8 μg	塩素	0.25g
ビタミン E	11mg α-TE	カルシウム	0.29g
ビタミン K	29 μg	リン	0.25g
ビタミン C	63mg	マグネシウム	52mg
ビタミン B1	0.51mg	マンガン	1.4mg
ビタミン B2	0.80mg	銅	0.48mg
ビタミン B6	0.77mg	亜鉛	4.5mg
ビタミン B12	0.88 μg	鉄	4.4mg
コリン	0.21g	クロム	31 μg
葉酸	68 μg	モリブデン	34 μg
ナイアシン	4.5mg	セレン	20 μg
パントテン酸	2.5mg		

1.2kcal/mL 製剤(300kcal/250mL /缶)

注) 本剤 1 缶(250mL)中の食塩相当量は 0.586g

効能・効果	一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する
製造販売承認年月日	2014年3月24日
製造販売・発売元	アボット ジャパン株式会社
薬価	7.1円/10mL (2014年5月30日～)

※医薬品経腸栄養剤としては国内初となる成分(抜粋)

● セレン

セレンは、組織において抗酸化作用の役割を発揮し健康維持にはかせない微量元素とされている。経腸栄養期間の長い症例では欠乏症の報告があり、欠乏症の代表的な症状として心筋細胞の編成や線維化による心機能の低下、下肢の筋力低下や筋肉痛、爪白色変化などがある。

● カルニチン

カルニチンは、脂質代謝に関与する条件付き必須栄養素である。カルニチンは通常の食事に少量含有されており食物から摂取可能であるが、慢性疾患、外傷、熱傷の患者さんなどで欠乏症の報告があり、欠乏症の代表的な症状として高アンモニア脳症、低ケトン性低血糖及び心筋症などがある。

● フラクトオリゴ糖

フラクトオリゴ糖は、ビフィズス菌増殖効果による整腸作用が期待できる成分である。in vitro 試験において健全な腸内細菌叢を維持することが知られており、術前・術後の絶食や静脈栄養等で長期に腸管を使用しなかった患者が速やかに正常・健全な腸内細菌叢を回復・維持することが報告されている。

● クロム

クロムは、糖代謝に関連する微量元素とされている。クロムが添加されていない高カロリー輸液管理患者において欠乏症が報告されおり、欠乏症の代表的な症状として体重減少、耐糖能低下などがある。

● モリブデン

モリブデンは、酵素(キサンチンオキシダーゼ、亜硫酸オキシダーゼ及びアルデヒドオキシダーゼ)の構成要素で必須の微量元素である。モリブデンをほとんど含まない高カロリー輸液管理患者で欠乏症の報告があり、欠乏症の代表的な症状として心拍数増加及び呼吸数増加、頭痛、夜盲などがある。

● タウリン

タウリンは、胆汁の主要な成分である胆汁酸と抱合し、特に脂質の消化・吸収に関与している栄養素である。タウリンに欠乏症の報告はない。国内においては、肝機能改善や心筋の興奮調節等の薬効でドリンク剤の主成分として広く使用されている。

#### 【アボットについて】

アボット社は、広範囲のヘルスケアに基盤を置くグローバルヘルスケア企業であり、人々の生活を向上させるために製品や技術を開発しています。主要な事業内容は、科学的知見に基づいた診断薬・機器、医療機器、栄養剤そしてブランドジェネリック医薬品を提供しています。グループ総従業員数約 69,000 人を擁し、世界 150 カ国以上で営業活動を行っています。

#### 【アボット ジャパンについて】

日本国内では、従業員約 2,200 人が栄養剤、医療機器、診断薬・機器そしてビジョンケア製品を含む医薬品と医療機器に関する製造、研究、開発、流通および販売とマーケティングに従事しています。東京、福井、千葉に主要拠点を置いています。

アボット社 ([www.abbott.com](http://www.abbott.com))、アボット ジャパン ([www.abbott.co.jp](http://www.abbott.co.jp))、ツイッター (@AbbottNews) も合わせてご参照ください。

###